

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- * 『考え つなげ 深める』授業の実現。
- * 『相手を思いやれる』子どもの育成。
- * 『3にもを大切にする』子どもの育成。

【未然防止】*ピア・サポートを3指導部で運営する。

- <研究推進部>
 - ・『子どもの本気を引き出す授業づくり』
 - ・授業を通して、「居場所」と「つきたい力」を子どもが育んでいく。
 - <生徒指導部・特別支援部>
 - ・『相手を思いやれる』子どもの育成。
 - ・生活指導・特別支援教育指導を通して、生活のきまりを守り、正しく判断する子を育てる。
 - <特別活動部>
 - ・『本気でがんばれる』子どもの育成。
 - ・特別活動を通して、『3にも（自分にも相手にもみんなにもよいことを考えよう！）』を実践する子を育てる。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・「3にも」をテーマに、特活部と連携して生徒指導を行った。

【早期発見】

- * 『校内アンケート（学期1回）』を活用する。
 - * 日常の『音読カード』『日記』『連絡帳』等 に書かれた子どもと保護者の声を受けとめる。
 - * 子どもの『表情』『しぐさ』『行動』等から『なぜ、そうなのか（原因）』を考え、見つめる。
 - * 生徒理解研修（子どもを語る会）の実施を通して全職員で子どもの情報を共有する。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・アンケートを学期ごとに変更したことで、子どもの実態をより細やかにつかむことができた。

【早期対応】

- * 『今日の出来事カード』を活用する。
記入者→生徒指導主任→校長→教頭→教務主任→事務室→学校担任→養護教諭→生徒指導主任
 - * ケース会議の設定。
 - * 関係機関との連携。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・ケース会議をその都度行ったことで、早期対応をすることができた。
 - ・関係機関とより連携を密にとりたい。

【PTAや地域との連携】

- * 学校だより・学年だよりを発行する。

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- * 各学級での『3にも』掲示板の活用。
- * 学級活動、朝・帰りの会の充実。

【いじめ対策委員会】

委員

- 校長・教頭・教務主任・
- 養護教諭・生徒指導主任・
- 特別支援コーディネーター・
- 該当学年部

【職員研修・指導体制】

- * 生徒指導研修会（担任の悩みを全校職員が共有し改善策を構築する。）
- * S Cを講師とした生徒指導研修会（いじめ早期発見に向けた研修を積み重ねる。）

【取組等の点検】

【関係機関との連携】

- ・ S C
- ・ S S W